

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公開番号】特開 2007-237345 (P2007-237345A)

【公開日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2007-036

【出願番号】特願 2006-64286 (P2006-64286)

【国際特許分類】

B 2 5 C 1/06 (2006.01)

【F I】

B 2 5 C 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 28 日 (2008.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

締結具を打ち込むためのドライバブレードと、該ドライバブレードと一体又は別体に構成されたプランジャと、該プランジャに形成されたラックと、該ラックに噛合するピニオンと、該ピニオンを回転駆動する駆動手段を備え、前記ピニオンの回転によって前記プランジャ及び前記ドライバブレードを直線移動させて締結具を打ち込む携帯用打込機において、

前記ラックの打込開始時及び打込途中に前記ピニオンが噛合する部分 A の歯幅 L_1 を、打込終了時に前記ピニオンが噛合する部分 B の歯幅 L_2 よりも狭く ($L_1 < L_2$) 設定したことを特徴とする携帯用打込機。

【請求項 2】

前記ラックの歯幅を長さ方向に沿って少なくとも 2 段階に変化させたことを特徴とする請求項 1 記載の携帯用打込機。

【請求項 3】

前記プランジャの両側部に溝状の減肉部を長さ方向に沿って形成したことを特徴とする請求項 1 ~ 2 の何れかに記載の携帯用打込機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 1 記載の発明は、より具体的には、前記ラックの打込開始時及び打込途中に前記ピニオンが噛合する部分 A の歯幅 L_1 を打込終了時に前記ピニオンが噛合する部分 B の歯幅 L_2 よりも狭く ($L_1 < L_2$) 設定したことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

請求項3記載の発明は、請求項 1 ~ 2の何れかに記載の発明において、前記ブランジャの両側部に溝状の減肉部を長さ方向に沿って形成したことを特徴とする。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 6 】

請求項3記載の発明によれば、ブランジャの両側部に形成された溝状の減肉部によってブランジャの更なる軽量化を図ることができる。